

講演テーマ「ヤマト運輸 羽田クロノゲート見学会」

- 日時 2018年4月19日(木)
- 場所 ヤマト運輸 羽田クロノゲート
- 参加人数 17名
- 担当幹事 関 雅也

第349回オプトフォーラムは、ヤマト運輸の羽田クロノゲート見学会を行いました。「クロノゲート」とは、ギリシャ神話の時間の神(クロノス)と、国内と海外をつなぐゲートウェイ(Gateway) = 「門、出入り口」の2つの組み合わせで、『新しい時間と空間を提供する物流の「玄関」であるとともに、物流の新時代の幕開け』となることを目指して名づけられたとのことです。

実際の見学会は、見学者ホールで羽田クロノゲートのビジョン映像を視聴の後、見学者コリドーからバーコードで読み取りされた荷物が、コンピュータ制御で関連付けられたベルトコンベアのセル1つ1つに正確に載せられ、配送地域ごとのレーンに振り分けられる様子を視察しました。参加者の多くは、普段見る事ができない高速で荷物が振り分けられる様子に視線が釘付けになっていました。また最後の展示ホールでは、ヤマトグループが目指す、バリュー・ネットワーキング構想をプロジェクションマッピングと展示物を通して体験しました。

見学会終了は、京急蒲田駅前の「来富市場 蒲田本店」にて懇親会を行いました。美味しい料理を囲みながら会員同士の懇親を深めました。

